

JR連合

第28回定期大会を開催

JRで働く仲間と家族の幸せ、産業の持続的発展を実現すべく、新年度の運動方針を決定



JR連合は6月11、12日にかけて、都内において第28回定期大会を開催し、貨物鉄道から大杉委員長、和田代議員（東海地区本部）、鈴木本部長、南関東ロジから山田委員長が出席し、傍聴として辻村本部長、南関東ロジ4名が出席しました。

選挙を控える榛葉賀津也議員（静岡県選挙区）、長浜博行議員（千葉県選挙区）をはじめとするJR連合国会議員懇談会、地方議員団連絡会の中田利幸米子市議などの来賓を迎え、代議員及び傍聴者など約260人が参集して、熱心かつ真摯な討議で新年度の運動方針を満場一致で決定しました。

執行部を代表して挨拶に立った松岡裕次会長は「令和の時代がスタートしたが、あらためて将来を見据え『働くことを軸とする安心社会』を目指していく」と決意を語り、「まさしく働く者の声に、そして声なき声にも傾聴し、真に民主的な労働運動を不断に追求し、実践していかなければならない」とJR連合運動の一層の展開を呼びかけ、その後、安全、民主化闘争、

政策課題、労働条件向上、政治活動の取り組みの5点について所信を述べるとともに、「JR連合はJRの責任と家族の幸せ実現にむけ、加盟各単組とともに、国民・利用者の期待に応えられる、社会・経済に貢献し続けるJR産業、JR労働運動を創出してまいります」と出席者に呼びかけました。



松岡裕次会長

議事では2018年度の経過を報告するとともに、新たに加盟した「JR西日本ポシブル医科学労働組合」を紹介し、満場の拍手で迎え入れ、その後、新年度の運動方針等に対して11人の代議員・特別代議員の発言があり、執行部から答弁の後、全ての議案を満場一致で可決した。また、役員改選では、3期6年間に会長を務めた松岡裕次氏とともに、2期4年間事務局長を務めた河村滋喜氏、同じく政策部長・企画部長などを務めた政所大祐氏が退任し、荻山市朗会長



荻山市朗新会長



榛葉賀津也議員

（JR西労組）、尾形泰二郎事務局長（JR東海ユニオン）、今井孝治執行委員（JR東海ユニオン）を新たに選出、新体制を確立し力強くスタートを切りました。

ドライバーの安心を グンと高めるパワフル補償。

毎日の暮らしに欠かせないクルマ。
日常的になったぶん、事故との遭遇率も高くなります。
対人賠償、対物賠償などの相手方への賠償だけでなく、
人身傷害補償、車両損害補償など
ご自身の補償も充実しています。



セット加入でパワフル補償

マイカー共済(自動車総合補償)/自賠責共済

みんなの暮らしをガード
交運共済
KOUEN KOSAI

発言した和田代議員



「和田代議員発言内容」

JR連合大会方針賛成の立場で、時間の関係もあり、2020春季生活闘争・民主化闘争・政策課題の3点に絞って、述べさせていただきます。

まず、2020春季生活闘争についてですが、連合は、2019春季生活闘争において、中小組合や非正規労働者の賃金の『底上げ・底支え』『格差是正』の取り組みの実効性を高めるために、働きの価値に見合った賃金の絶対額にこだわる取り組みを方針として掲げました。2020春季生活闘争に向けても、おそらく「賃金の絶対額」を重視する方向であると考えますが、貨物鉄産労として危惧するのは、格差是正の大義

のもとに「個別賃金要求方式」に転換することにより、従来の「上げ幅要求方式」が、ナショナルセンターとしての連合方針から消えてしまうのではないかということ。

そもそも春闘とは、各企業の業績に関わらず統一要求を掲げ、統一回答を引き出すことを目的として出されたものであり、経営体力が脆弱なJR貨物では、統一要求方式が労働条件の底上げに不可欠なものと考えます。連合が、統一要求方式から転換し、産別自決、さらに将来的には単組自決などとなった場合、貨物鉄産労としてはひとたまりもありません。JR連合として、連合に対して「上げ幅要求方式」「統一要求方式」を引き続き掲げていくよう訴えて頂くことを強く要請します。

次に民主化闘争についてです。JR東日本における東労組基軸労政が崩壊してから、すでに1年以上が経過し、組合未加入者が第1勢力という極めて異質な労使関係となつています。JR連合が掲げてきた民主化闘争とは、JR東日本・北海道・貨物において、JR総連基軸の労政からJR連合基軸の労政へと転換させることが目的だったと思いますが、その意味では、今のJR東日本の状況は想定外の事態であり、民主化闘争の主戦場であるJR東日本で起きたことは、東労組否定（イコール労働組合不要論です。JR連合には、こうした新たな状況に対応しうる組織戦略を打ち出して頂くことを要請するとともに、貨物鉄産労においては、1人でも2人でも、組織拡大出来るよう取り組んでいきます。

次に政策についてです。日頃より、税制特例延長等の経営支援策に御礼申し上げます。JR貨物の政策課題として、アボイダブルコストルール、貨物調整金、税制特例があり、近年、線路使用料について着目されたことがありました。

そこで、線路使用料・アボイダブルコストルールを旅客会社の理解を得ながら、法制化や法に準じる形を、国に対して要望して頂けないか、切に要望します。

最後に、JR連合国会議員懇談会会長・榛葉賀津也議員の必勝に向け、組合を総動員して取り組むことをお約束し、私からの発言とします。共に頑張りましょう。

交運労協・第25回交通運輸政策研究集会



6月29日～30日、静岡県熱海市において、交運労協・第25回交通運輸政策研究集会が開催され、貨物鉄産労から大杉委員長が出席しました。

基調講演第1講座では、国土交通省総合政策局公共交通政策部南山課長補佐様による「交通・インフラ政策を取り巻く社会経済情勢と取り組みについて」講義され、人口減少・人口の地域的な偏在の加速、自然災害の頻発・激甚化、インフラの老朽化、国際的な経済活動の拡大・競争の激化など、取り巻く環境が大きく変化する中で、今後の交通インフラ政策をどう構築すべきなのか、また、持続可能な交通運輸産業の確立に向けての助言をして頂きました。

第2講座では、戸崎肇桜美林大学教授による「交通政策の新たな展開」では、人口減少による地域と都市部の格差拡大、地方公共交通の弱体化、交通環境の変化についての対応策として、法改正を始めたとする改革が必要と助言をし、また、物流関係では、「Maas」の可能性、問題など提起して頂きました。

山梨県早川町 「地域活性化ボランティア」

6月1日～2日にかけて、山梨県早川町「地域活性化ボランティア」を行い、貨物鉄産労東海地区本部から2名が出席しました。このボランティアはJR連合政策提言「地域とのパートナーシップ」に基づき毎年行われているものです。

大切なクルマだから、車両損害補償はしっかりと。

衝突、火災、盗難、落書き、イタズラによる損傷…など、さまざまな損害に備えてマイカーを守るのが車両損害補償。クルマの仕様・構造による割引制度も、さらに充実。ますますパワーアップした「オールリスク」がおすすめです。



みんなでおなじみカード 交運共済

セット加入でパワフル補償

マイカー共済(自動車総合補償)/自賠責共済

今年は全体で19名が参加し、初日は上流文化研の方より、早川町についてオリエンテーションがあり、その後、作業についての説明があり、各作業場所に分かれて作業が開始となりました。



作業内容としては草刈り、電柵の整備修繕、道路わきや用水路の清掃等で、例年ですと、酷暑の中での作業が続きましたが、曇り空という恵まれた天候の下での作業となり、怪我人を出すこともなく無事終了しました。夜は、宿泊場所で夕食懇親会BBQが行われ、地元産のワイン等を嗜み、大いに盛り上がりました。

2日目午前中も作業を行い、お昼には地元の方との昼食交流会が行われ、地元の方が用意した料理を食べながら親睦を深めました。このボランティア活動は10年以上続いているものであり、今後も積極的に参加していきたいと思えます。

男女平等参画の推進

6月は「男女平等月間」です！地域・職場・労働組合における男女平等参画の重要性について、組織内での合意形成を図り、男女平等推進への機運を高めるため、男女雇用機会均等法の交付月である6月を「男女平等月間」に設定し、時々の課題をテーマに取り組んでいます。今回は雇用及び職場における男女平等の実現、均等待遇に向けて、2019春季生活闘争での本部要求を一部紹介します。

2019春闘要求で、「くるみん認定」「えるぼし認定」の取得を求めました。



「くるみん認定」とは、次世代育成支援対策推進法により、JR貨物は行動計画を策定しています。その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受けることができます。



「えるぼし認定」とは女性活躍推進法により、JR貨物は行動計画を策定しています。女性の活躍推進に関する取組の実施状況等が優良な場合、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

認定されるということは、妊娠や出産、育児で離職や不利益

取り扱いがなく仕事と育児の両立が難しく、長く働き続けキャリア形成ができるという事です。そして、認定マークを商品や広告、求人票などに使用することができ、「子育てサポート」「女性の活躍を推進している企業」であることをアピールでき、イメージアップや認知度向上を図ることが出来ます。

働きやすい職場環境を進めれば、優秀な人材が定着し、結果として企業の業績の向上にも繋がるため、職場内の意識転換、理解促進、要員確保について引き続き会社と協議していきますが、組合員の皆さんも、この制度を周知し、利用しやすい環境づくりを率先して行いましょう。その他、テレワーク制度、フレックス制度、時間単位年休制度の導入や勤務時間インターバル制度の導入等についても引き続き労使協議を行っていきます。

第35回
定期全国大会について

・開催日時
7月1日 13時～

・場所
ホテルアソシア静岡

※詳細につきましては、指
示書をご参照ください。

予測できない事故・病気。頼りになるのは大きな保障。

交通災害共済は、交通事故だけでなく、駅構内や航空機等の改札口内の事故や道路通行中の建造物の倒壊、物の落下による事故まで幅広く保障。生命共済と入院共済も、セットで心強さが倍増します。



家族の幸せを大きくサポート
交通災害共済/生命共済/入院共済

東海地区本部参加者